

教科(科目)	世界史B	単位数	4単位	1学年
使用教科書	山川出版社「詳説 世界史 改訂版」			
副教材等	浜島書店 「世界史詳覧」			

1 学習目標

世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

- ① 客観的かつ公正な史料に基づいて歴史の事実を理解し、広い視野から世界の動きを的確に捉えるようにする。
- ② 政治・経済・社会・文化・生活など様々な観点から歴史的事象を取り上げ、世界に対する多角的で柔軟な見方を養う。
- ③ 世界の形成の歴史的過程や文化の多様性などを学ぶことによって、現代社会における諸問題を認識させる。

3 指導計画

月	単元名・学習内容	指導内容	時間	評価方法
4	序章 先史の世界 第1章 オリент世界と地中海世界 1 古代オリент世界 2 ギリシア世界	・人類の誕生から文明の成立過程を理解させる。 ・メソポタミア・エジプトなどの文明の興亡を理解させる。 ・ギリシア世界の形成とその発展・没落を理解させる。	40	プリント 1学期中間考査 ノート提出
5	3 ローマ世界 第2章 アジア・アメリカの古代文明(1~4)	・ローマの発展と変容、ローマ帝国の盛衰を理解させる。 ・インド、東南アジア、中国古典文明、南北アメリカの各文明について、その特徴をとらえる。		
6	第3章 内陸アジア・東アジア世界の形成(1~3)	・魏晉南北朝から隋・唐、五代、宋とつづく中国の変遷について理解させる。 ・遊牧民の活動、特にトルコ人・モンゴル人の動きについて理解させる。		
7	第4章 イスラーム世界の形成と発展(1~4) 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展(1~4) 1 西ヨーロッパ世界の成立 2 東ヨーロッパ世界の成立	・イスラーム帝国の成立と分裂、イスラーム世界の発展について、理解させる。 ・ゲルマン人の移動によって始まり、混乱の中、現在のヨーロッパ諸国の基礎が形成したこと、独自の中世世界が形成されたことを理解させる。		プリント 1学期期末考査 ノート提出
8	3 西ヨーロッパ中世世界の変容	・十字軍の遠征を契機として、西ヨーロッパ中世世界が大きく変容し、近代ヨーロッパへ向かう課程を考察する。 ・陸と海のネットワークと諸地域の結びつきを理解させる。	52	プリント 2学期中間考査 ノート提出
9	4 西ヨーロッパの中世文化 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開(1~3)			
10	第7章 アジア諸地域の繁栄(1~4) 第8章 近代ヨーロッパの形成(1~4) 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開(1~3)			
11	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成長 1 産業革命 2 アメリカ独立革命 3 フランス革命とナポレオン 第11章 欧米における近代国民国家の発展	・アジア諸地域の動向を考察させる。 ・近代ヨーロッパの成立過程を、多角的に理解させる。 ・イギリスの市民革命と各国における主権国家体制の推移、ヨーロッパ諸国の海外進出の動きを理解させる。		
12	1 ウィーン体制 2 ヨーロッパの再編 3 南北アメリカの発展 4 19世紀の欧米文化	・産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命を扱い、世界市場の形成と近代民主政治の基本原理の確立について理解させる。 ・19世紀の欧米諸国の動向について、ウィーン体制の確立と崩壊、イタリア・ドイツの統一と新たな国際秩序の構築について理解させる。 ・世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の動揺・改革を扱い、19世紀のアジアとヨーロッパの関係を理解させる。		

月	単元名・学習内容	指導内容	時間	評価方法
12	第12章 アジア諸地域の動揺 1 オスマン帝国支配の動揺 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	・世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の動揺・改革を扱い、19世紀のアジアとヨーロッパの関係を理解させる。	36	プリント 学年末考査 ノート提出
1	第13章 帝国主義とアジアの民族運動 1 帝国主義と列強の展開 2 世界分割と列強対立 3 アジア諸国の改革と民族運動 第14章 二つの世界大戦	・ヨーロッパ諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競合とアジア・アフリカの対応を扱い、19世紀後半から20世紀初期の世界の支配・従属関係を伴う一体化などを理解させる。 ・二つの大戦と総力戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現と全体主義、世界恐慌と資本主義の変容、アジアの民族運動などを扱い、20世紀前半の世界の動向を理解させる。		
2	1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制化の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5 第二次世界大戦 第15章 冷戦と第三世界の成立 1 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 2 米ソ冷戦の激化	・米ソ冷戦の展開、アジア・アフリカの動向、平和共存の模索と多極化の進展を扱い、冷戦期の動向を理解させる。 ・市場経済の世界化、東欧諸国の民主化と冷戦の終結、地域統合の進展などを扱い1970年代以降の動向を理解させる。		
3	3 第三世界の台頭と西欧・日本経済の復興 4 石油危機と世界経済の再編 第16章 現代の世界（1～4）	・世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを理解させる。		

合計128時間（55分授業）

4 課題・提出物等

- 1 各単元ごとに課題学習、宿題など適宜指示します。
- 2 長期休業中の課題は別途指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
世界の歴史的事象に関心を持ち、現代の世界の特質を総合的に考察し、民主的で平和なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付けようとしている。	現代の世界の諸問題を歴史的背景を踏まえて理解し、その本質や現代に生きる人間としての関わり方について広い視野に立って多面的・多角的に考察することができる。	教科書・副教材などに記載されている基本的史料の活用法やメディアを通して入ってくる世界の動きを有用な情報を主体的に選択し活用して理解する方法を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みや流れについて基本的な知識を持ち、現代の世界が抱えている諸問題を歴史的背景を踏まえて世界的視野に立って理解できる力を身に付けている。

以上の観点を踏まえ、

- ・授業の取り組み（授業態度、発言や音読などの様子、学習活動への参加状況など）
 - ・長期休業中の課題（提出状況、レポートの内容）
 - ・定期テスト
- などから、総合的に評価します。

6 担当者から一言

世界史を学習することで、現代の世界情勢に対する理解を深め、さまざまな国際的課題に関して、自分で考えて自分の意見をもってほしいと思います。また、視聴覚教材などを取り入れて、世界史に対する興味・関心を高めていきたいと思っています。なお、指導計画は行事等の事情で変更される場合があります。